

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 20 年 3 月 6 日 (2008.3.6)

【公表番号】特表 2007-526944 (P2007-526944A)

【公表日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2007-036

【出願番号】特願 2007-501784 (P2007-501784)

【国際特許分類】

C 1 1 D 1/02 (2006.01)

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

C 1 1 D 3/02 (2006.01)

C 1 1 D 3/39 (2006.01)

C 1 1 D 17/08 (2006.01)

C 2 3 G 5/02 (2006.01)

【 F I 】

C 1 1 D 1/02

H 0 1 L 21/304 6 4 7 B

C 1 1 D 3/02

C 1 1 D 3/39

C 1 1 D 17/08

C 2 3 G 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

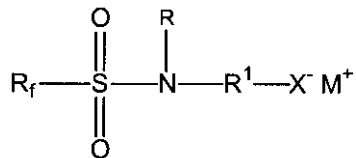
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 式

【化 1】



(式中、

R_f は $\text{C}_2 \sim \text{C}_6$ パーフフルオロアルキル基であり、

R は、カテナリー酸素、窒素または硫黄原子によって任意に中断されてよい $\text{C}_2 \sim \text{C}_{25}$ アルキル、ヒドロキシアルキル、アルキルアミンオキシドまたはアミノアルキル基であり、

R^1 は式 $-\text{C}_n - \text{H}_{2n}(\text{CHOH})_o \text{C}_m \text{H}_{2m} -$ (式中、 n および m は独立して $1 \sim 6$ であり、 o は 0 または 1 である) のアルキレン基であり、前記アルキレンはカテナリー酸素、窒素または硫黄原子によって任意に中断されてよく、

X^- は SO_3^- または $-\text{CO}_2^-$ であり、

M^+ はカチオンである)

の少なくとも1種の界面活性剤を少なくとも10パーツパーミリオン(ppm)、

(b) 溶媒および

(c) 酸化剤

を含む組成物。

【請求項2】

基材をクリーニングする方法であって、

(a) 請求項1に記載の組成物を提供する工程と、

(b) 基材を提供する工程と、

(c) 前記基材の表面と前記組成物を互いに接触させて界面を形成する工程と、

(d) 所望しない表面材料を除去させる工程と

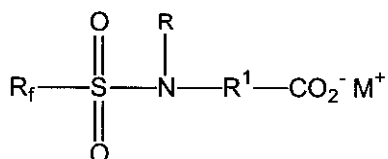
を含む方法。

【請求項3】

(a) 酸および

(b) 式

【化2】



(式中、

R_f は $C_2 \sim C_6$ パーフルオロアルキル基であり、

R は、カテナリー酸素、窒素または硫黄原子によって任意に中断されてよい $C_2 \sim C_{25}$ アルキル、ヒドロキシアルキル、アルキルアミンオキシドまたはアミノアルキル基であり、

R^1 は式 $-C_n-H_{2n}(CHOH)_oC_mH_{2m}-$ (式中、 n および m は独立して1~6であり、 o は0または1である)のアルキレン基であり、前記アルキレンはカテナリー酸素、窒素または硫黄原子によって任意に中断されてよく、

M^+ はカチオンである)

の界面活性剤

を含む水性クリーニング溶液。

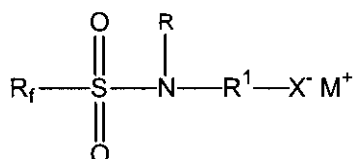
【請求項4】

基材を請求項3に記載のクリーニング溶液に接触させることを含む、基材をクリーニングする方法。

【請求項5】

式

【化3】



(式中、

R_f は $C_2 \sim C_6$ パーフルオロアルキル基であり、

R は、カテナリー酸素、窒素または硫黄原子によって任意に中断されてよい $C_2 \sim C_{25}$ アルキル、ヒドロキシアルキル、アルキルアミンオキシドまたはアミノアルキル基であり、 R^1 は式 $-C_n-H_{2n}(CHOH)_oC_mH_{2m}-$ (式中、 n および m は独立して $1 \sim 6$ であり、 o は 0 または 1 である) のアルキレン基であり、前記アルキレンはカテナリー酸素、窒素または硫黄原子によって任意に中断されてよく、

X^- は SO_3^- または $-CO_2^-$ であり、

M^+ はカチオンである)

の少なくとも 1 種の界面活性剤を少なくとも 10 ppm 含む水性クリーニング溶液であって、 7 以上の pH を有する溶液。